

報告事項ス

平成24年度弥生文化シンポジウムの開催結果について

平成24年度弥生文化シンポジウムの開催結果について、別紙のとおり報告します。

平成25年4月23日

鳥取県教育委員会教育長 横 濱 純 一

平成24年度弥生文化シンポジウムの開催結果について

～とっとり倭人伝「東・西日本からみた山陰の弥生社会」～

平成25年4月23日
文化財課

- 1 日時 平成25年3月9日(土) 13:00～
- 2 場所 米子市淀江文化センター(さなめホール)
- 3 参加者 約350名
- 4 イベント内容

シン ポ ジ ウ ム	挨拶	13:00～13:10	鳥取県教育委員会事務局次長
	オープニング アクト	13:10～13:30	「古代淀江の紙芝居」 松村 宏氏(ニュース漫画家・紙芝居作家)
	記念講演	13:30～14:50	「邪馬台国成立前夜の山陰」 大塚 初重氏 (明治大学名誉教授・元日本考古学協会会長)
	パネルディス カッション	15:10～16:30	「東・西日本からみた山陰の弥生社会」 コーディネーター 西谷 正氏(九州歴史博物館館長) パネリスト 石川日出志氏(明治大学教授) 森岡 秀人氏(日本考古学協会理事・古墳出現期土器研究会会長) 湯村 功氏(鳥取県立公文書館) 岡野 雅則氏(鳥取県教育委員会)

5 概要

はじめに、オープニングアクトとして鳥取県出身のニュース漫画家・紙芝居作家である松村 宏氏に古代淀江をテーマにした紙芝居を上演に続き、「邪馬台国前夜の山陰」と題する記念講演では、明治大学名誉教授 大塚初重先生に、邪馬台国論における妻木晩田遺跡や青谷上寺地遺跡の意義、重要性を高く評価いただきました。

休憩を挟んで行われたパネルディスカッション「東・西日本からみた山陰の弥生社会」では、西谷 正先生をコーディネーターに、パネリスト、石川日出志、森岡秀人、湯村 功、岡野雅則の各氏が、弥生時代の日本列島における妻木晩田遺跡や青谷上寺地遺跡などの位置付け、調査研究の重要性について意見を交わしました。

また、参加者の皆様には、休憩時に、ミニ企画展「のぞいてみよう！とっとり弥生の王国」で妻木晩田遺跡や青谷上寺地遺跡の展示、紙芝居作家 松村 宏氏による街頭紙芝居をお楽しみいただきました。



大塚初重氏による記念講演



パネルディスカッションの様子